

■あさひ次号は5月23日(日)の発行です。

# 倉澤杏菜。ピアノリサイタル

## 5月19日(水)19時、ヤマハ銀座コンサートサロンで

市内富士見出身でドイツ、ポーランド、日本で活躍するピアノリスト、倉澤杏菜さんのピアノリサイタルが5月19日(水)18時30分開場、19時開演、ヤマハ銀座コンサートサロン(ヤマハ銀座店6F)で開かれる。全席自由、一般3000円、FC会員2500円。



倉澤杏菜さん

曲目はショパンの作品を中心に「小犬のワルツ」「英雄」「マズルカ風ロンド」「長調作品5」「バラード第4番へ短調作品52」などのほか、スクリャーピン「幻想」、ラフマニノフ「コレリリの主題による変奏曲作品42」。

アノコンクールで上位入賞を果たして注目され、ヨーロッパや日本の各地で音楽祭や演奏会に数多く出演している。チケットの申込み、問い合わせは、ヤマハ銀座店 ☎03(3572)3132へ。会場は東京メトロ銀座線・丸ノ内線・日比谷線の銀座駅A3出口より徒歩4分。また、倉澤さんは5月24日(月)、日本シヨパン協会主催の「シヨパン・フェスティバル2010 in表参道」に出演。12時、13時、カワイ表参道コンサートサロン「パウゼ」で、ランチャイムコンサートを行う。入場料500円。問い合わせは、日本シヨパン協会 ☎03(3379)2803へ。

# キャッチフレーズは『潤水都市 さがみはら』

## 政令指定都市スタート

相模原市が4月1日、政令指定都市としてスタートした。全国で19番目、県内では横浜、川崎市に次いで3番目。また戦後に誕生した市としては初の政令指定都市となる。



政令指定都市移行を宣言する加山市長

「暮らし先進都市や内陸ハブシティとして、暮らしてみたい、訪れてみたい、企業活動の拠点としたい、そんな選ばれる都市づくりを進めてまいります」と述べた。また、市議会議長などの挨拶の後、シティセールスコピー『潤水都市 さがみはら』の発表、開所式のテープカットなどが行われた。

シティセールスコピーは、相模原市の魅力を市内外に効果的に発信するためのキャッチフレーズで、市民から公募。2265点の応募作品の中から、角田保幸さん(磯部在住)の作品が選ばれた。『潤水都市』の持つ意味は、①相模川の豊かな流れや道志川の清流、相模湖や津久井湖、宮ヶ瀬湖など首都圏の水がめを有す ②清らかな水・豊かな自然に恵まれ、市民の心も潤いに満ちている ③戦後生まれ初の政令指定都市で活気あふれていることから「純粹」という言葉にかけての3つ。市では、市が発行するパンフレットや主催イベント等で使用するほか、市のPRのために広く活用していくという。

# ふれあい伝言板

## ■ギャラリースペース游情報

▼阿部凱宣 水彩画展  
5月5日(祝)〜16日(日)(最終日16時まで)。水彩画スケッチ約25点。野の花に魅せられた作家の優しく繊細な世界。

▼大神田みちえ展  
5月19日(水)〜30日(日)(最終日17時まで)。水彩画約28点。「優しい時」がテーマ。2年ごとに個展を開催。問合せ ☎042(856)1990。千代田2丁目×イプルビル2階。11時〜18時営業。月・火休廊。

■中央区市民健康まつり  
5月16日(日)8時45分、中央公民館集合。13時解散予定。新緑の淵野辺公園から道保川公園まで歩きます。雨天時は公民館でウォーキングの指導。申込み ☎中央公民館 ☎042(758)9000。

■横山つくも学級 生徒募集  
5月20日〜7月8日までの木曜日全8回、10時〜正午(7月1日を除く)、横山公民館で。公民館

い(い)の話を途中で止めるのです。そして「桃は(このまき)になったんだらうね?」と子どもに問うてみるのです。すると子どもはあれやこれや、いろいろと想像します。「この桃をみんなで食べたよ」とか、「この桃を蹴って遊んだよ」とかいろいろです。その答えがあつていようとしまいと関係ありません。大切なのはこの「想像すること」なのです。なぜなら、理解ができるかできないかの差は、頭の中で想像できるかできないかにかかっているからです。そもそも人の話を聞いて理解できないという場合、頭の中で想像(イメージ)できていないはず。ですから、本を途中で止めて子どもに想像させることは子ども

の想像力を高めるだけでなく、理解力をも高めることになるのです。こうすると、学校で先生の話がわからないとか授業についていけないということはまずなくなります。お試しください。

# ササガの 百人一首 会

幼い頃から親しんできた百人一首を、もう一度楽しみたいとの思いで集まった「ふづき会」。11年前、陽光台公民館の開館と同時に活動を始め、7月(文月)の発足にちなんで「ふづき会」と名づけたという。



月1回の定例会の前半は、歌の

解釈などの勉強にあて、後半はカルタとりを行っている。「声に出して読み、テキストを参考にし、一首一首味わいながら鑑賞していきます。古典文学に親しみながら、共通の話題で語りあったり、カルタとりをしたりと楽しんでいます」と橋爪さん。競技カルタのようにスピードを競うものではないという。「孫に教えて一緒に楽しんでいきます。ぜひ子供たちに伝えていきたいと思っています」と浜谷さん。3月に行なわれる陽光台公民館まつりに毎年参加し、子供たちとカルタを行う。今年も多くの小学生が参加したそうだ。「積極的に読み手になってくれる子もいて、楽しかったです。百人一首に興味をもって来て、少しでも記憶に残ってくれるとうれしいですね」と笑顔。

活動は第1火曜日の午前9時30分から正午まで、陽光台公民館で行っている。現在会員が3人と少ないのが悩み。「一緒に、百人一首を楽しみませんか。新しい発見があると思います」と会員募集中。連絡は、浜谷さん ☎042(712)0713へ。

★当コーナーに登場したいサークル、スポーツチーム募集中。掲載無料。詳細は編集室まで。

■陽光台はつらつ学級 準備委員募集  
陽光台公民館では、高齢者学級の準備委員を募集中。対象は陽光台地区在住の60歳以上の方。学習の内容や社会見学の見学先などを企画し、9月の開講に向け準備します。申込み ☎陽光台公民館 ☎042(755)3451。

■渡辺えり講演会  
5月31日(月)18時45分〜20時40分、グリーンホール相模大野大ホールで。参加費999円、高校生以下無料。「子供たちに引き継ぐ戦争をしない国を」がテーマのさがみはら九条の会主催の講演会。講師の渡辺えりさんは、劇作家、演出家、女優として活躍する傍ら、憲法九条の大切さを広めるため各地で講演などを行っている。演題は「夢見る力」。当日券あり。申込み ☎鈴木忠夫 ☎042(778)1655、安立武晴 ☎042(754)1887。

■チューブ体操のつどい  
6月5日(土)10時〜11時30分、富士見小学校体育館で。幅の広いゴムを使う軽い筋力運動です。定員40名程度。5月15日から受付。申込み ☎中央公民館 ☎042(758)9000。

■星が丘地区市民健康まつり  
5月23日(日)9時〜11時30分、星が丘小学校体育館で。スポーツ吹き矢や体力測定(肺活量・反復横とび・握力など)、健康チェック。地域の皆さんと楽しく健康づくりをしませんか。当日直接会場へ。問合せ ☎星が丘公民館 ☎042(755)0600。

■パソコン教室  
5月29日(土)、30日(日)、6月5日(土)、6日(日)の全4回、陽光台公民館で。時間は午前クラス9時〜12時、午後クラス13時30分〜16時30分。テキスト代1000円。対象は陽光台地区在住の成人。定員は各クラス7名で、応募者多数の場合は抽選。往復ハガキで申し込み

「形」を作ってやればいのです。たとえば、勉強に欠かせない「理解力」をつけさせるための一つの方法を紹介します。子どもに昔話や絵本の読み聞かせをされる方もいらっしゃると思いますが、少し子どもに知恵がついてきたら、ただ本を読んであげるだけでは面白くありません。こうするのです。

「昔々あるところに、おじいさんとおばあさんが住んでいました。おじいさんは山へ芝刈りに、おばあさんは川で洗濯をしました。おばあさんが川で洗濯をしていると向こうから、どんぶらこどんぶらこ大きな桃が流れてきました。」

「桃」を作ってやればいのです。たとえば、勉強に欠かせない「理解力」をつけさせるための一つの方法を紹介します。子どもに昔話や絵本の読み聞かせをされる方もいらっしゃると思いますが、少し子どもに知恵がついてきたら、ただ本を読んであげるだけでは面白くありません。こうするのです。

「形」を作ってやればいのです。たとえば、勉強に欠かせない「理解力」をつけさせるための一つの方法を紹介します。子どもに昔話や絵本の読み聞かせをされる方もいらっしゃると思いますが、少し子どもに知恵がついてきたら、ただ本を読んであげるだけでは面白くありません。こうするのです。

# 「賢い」子育てのための「ハッピー」親子講座

## 第4回 理解力をつける

行動主義心理学の主唱者であるアメリカの心理学者トロンは、私の記憶に間違いがなければ「言ったと聞いています。」私に子どもを預ければ、思い通りの人間に育てることができる」と。はたして本当にそのようなことができるのでしょうか。そもそも人間の内面を変えていくことは困難なことです。そこでトロンは内面を変えることが困難なら、「行動」すなわち「形」から変えていけばいいと考えたわけです。もちろん、行動心理学はそのような単純なものではありませんが、簡単に言えばそういうことなのです。

これを子育てに応用できないものでしょうか。すなわち、「なぜ勉強しないの?」「子どもにも問うよりも勉強力をつける

# — 椋木修二 —

「形」を作ってやればいのです。たとえば、勉強に欠かせない「理解力」をつけさせるための一つの方法を紹介します。子どもに昔話や絵本の読み聞かせをされる方もいらっしゃると思いますが、少し子どもに知恵がついてきたら、ただ本を読んであげるだけでは面白くありません。こうするのです。

い(い)の話を途中で止めるのです。そして「桃は(このまき)になったんだらうね?」と子どもに問うてみるのです。すると子どもはあれやこれや、いろいろと想像します。「この桃をみんなで食べたよ」とか、「この桃を蹴って遊んだよ」とかいろいろです。その答えがあつていようとしまいと関係ありません。大切なのはこの「想像すること」なのです。なぜなら、理解ができるかできないかの差は、頭の中で想像できるかできないかにかかっているからです。そもそも人の話を聞いて理解できないという場合、頭の中で想像(イメージ)できていないはず。ですから、本を途中で止めて子どもに想像させることは子ども

の想像力を高めるだけでなく、理解力をも高めることになるのです。こうすると、学校で先生の話がわからないとか授業についていけないということはまずなくなります。お試しください。

「形」を作ってやればいのです。たとえば、勉強に欠かせない「理解力」をつけさせるための一つの方法を紹介します。子どもに昔話や絵本の読み聞かせをされる方もいらっしゃると思いますが、少し子どもに知恵がついてきたら、ただ本を読んであげるだけでは面白くありません。こうするのです。

ASAではヘルマーク運動を応援しています。読者からお預かりしたヘルマークを近隣の学校に届けます。ヘルマークを集めたら、ASA相模原中央 ☎042(758)9494まで「1報ください!」